

~~~~~  
10年後の中野を描くメールマガジン 第19号  
~~~~~

発行日：2005年3月22日（火）
発行：中野区区長室計画担当
〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1
電話03-3228-5572

★メールマガジンや基本構想改定に関するご意見・ご連絡は下記アドレスへ★
seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

★メールマガジンのバックナンバーをご覧になりたい方はこちらへ★
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/magagine.html>

★現在の中野区基本構想（昭和56年制定）をご覧になりたい方はこちらへ★
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kg028.html>

◆もくじ◆

◆新しい中野区基本構想素案のパブリック・コメント手続を実施しました◆

◆編集後記◆

◇お知らせ◇「平成17年度行政評価区民委員を募集します」

■■■ 新しい中野区基本構想(素案)パブリック・コメント手続実施結果 ■■■
■■■ みなさんからいただいたご意見と区のお考え方を一部を紹介します ■■■
■■■

中野区は「中野区基本構想」の改定に取り組んでいます。
昨年12月に新しい中野区基本構想の素案を作成し、なかの区報臨時号を発行して、みなさんにお知らせしました。

この素案について※パブリック・コメント手続（意見募集）と区民のみなさんとの意見交換会を実施し、数多くのご意見をお寄せいただきました。
意見交換会においていただいたご意見については、前号でご紹介しましたが、今号では、パブリック・コメント手続でお寄せいただいたご意見の一部とそれに対する区のお考え方を紹介します。

区は、いただいたご意見を考慮して区案を作成し、開会中の中野区議会第1回定例会で提案しています。

※「パブリック・コメント手続」とは・・・
区が重要な政策や計画などを策定する際に事前に原案を公表し、区民のみなさんの意見を伺い、ご意見を考慮して最終案をつくとともに寄せられたご意見に対する区のお考え方を公表するその一連の手続をいいます。

■パブリック・コメント手続実施結果■

☆意見募集期間☆ 平成16年12月24日から平成17年1月31日まで

☆意見総数☆ 44人

（提出方法内訳）窓口13人、郵送4人、ファクシミリ8人、メール19人

☆いただいたご意見とそれに対する区の考え方☆

基本理念や将来像、10年後の姿などについて幅広くご意見をいただきました。一部をご紹介します。なお、項目は、おおよそ素案のどの章に該当する内容かで分類しています。

【これまでの歴史と新しい基本構想を策定する理由などについて】（一部抜粋）

●ご意見

「大きな社会環境の変化や新たな課題が数多く生まれている」とあるが、長期計画や施策の変更理由とはなり得ても、基本構想を変える理由にはならない。財政の立て直しが目的ならば、10か年計画だけでよかったのではないか。

○区の考え方

基本構想で将来像を明らかにした上で、財源の裏づけのもとに具体的な方策などを明らかにする10か年計画を策定すべきだと考えます。

【中野のまちの基本理念について】（一部抜粋）

●ご意見

現在の基本構想は、「憲法を生かそう、暮らしに、中野のまちに」をスローガンに区民参加の区政を基本的に貫いてきたと思う。新しい基本構想では、この基本理念を継承するのか。

○区の考え方

憲法を大切にすること、区民参加を基本にすることには変わりはありません。

【中野のまちの将来像と10年後の姿について】（一部抜粋）

●ご意見

「中野のまちの将来像」も、ぼんやりとした、あいまいな将来像となっており具現化されたまちの姿をイメージすることができない。

○区の考え方

10年後に実現するまちの姿を具体的に描くように努めました。その実現に向けた施策については、10か年計画の中で示していきます。

●ご意見

中野駅周辺まちづくりに偏りすぎている。生活都市というなら、他の地域はどうなるのか説明されていない。

○区の考え方

それぞれの地域特性に合わせて、調和の取れたまちづくりを進めていきます。

●ご意見

「継続的にスポーツを楽しむ場など、区民が学習する機会と・・・地域の中に多様に用意されています」とあるが、用意されるという表現は住民が受身になっている。行政の援助を受けながら、住民が作り出すという方向が必要ではないか。

○区の考え方

ご意見の趣旨に沿って修正します。

●ご意見

「保健福祉・医療のサービスがさまざまな担い手によって提供される・・・」としているが、公的部門を民間任せにして撤退しようとしていることは問題だ。

○区の考え方

区は、さまざまな担い手が提供する公共サービスの質の確保や調整・支援する

とともに、さらに区として必要な施策を行い、必要なサービスや支援が受けられるよう、区民の生活を支えていきます。

●ご意見

地域住民、区民の成長を培うことが、区政の根本に据えられなければならない。それには職員と住民との信頼し合える結びつきが大事である。

○区の考え方

参加と地域自治を進め、開かれた公正な行政を確立することにより、信頼関係を築いていきます。

【基本構想と計画体系、行財政運営の基本原則について】（一部抜粋）

●ご意見

「行政の説明責任を果たし、分かりやすく情報提供」とあるが、区民からどういふ意見が出され、それが区政にどう生かそうとしているかを明確に示すべきである。

○区の考え方

このパブリック・コメント手続の取り組みをはじめ、現在でも情報提供や説明責任を果たすための仕組みを作っていますが、（仮称）自治基本条例の中でより明確化していきたいと考えます。

【その他】（一部抜粋）

●ご意見

施設の統廃合計画は漠然としている。施設配置はスクラップアンドビルドで考えるのではなく、今あるものを有効に使うという方向で考えてほしい。

○区の考え方

施設の数をこれまでどおり維持することは困難であると考えていますが、用途変更も含め、今あるものを有効に使っていきます。施設配置の計画については、10か年計画の中でお示しします。

★パブリック・コメント手続の実施結果については、区ホームページにアップしています。地域センター、図書館、区役所1階区政資料センター、区役所4階区長室（7番窓口）でも閲覧することができます★

http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/pubcome/pbcm_kihonkou.html

◆編集後記◆

朝目覚めた瞬間に「あっ、今日は花粉の量が多い」とわかる体になってしまいました。例年に比べ花粉の量が何倍も多いとの事。医者診察を受けて薬を服用する、鼻を塩水で洗う、目薬をさす、新型マスクを着用するなど、花粉症対策を講じている人の姿を多く目にします。桜の頃を過ぎ、新緑の5月が待ち遠しいのは私だけではないのでは・・・

「卒園」「卒業」の“声”が聞こえてきます。式の様子は昔と比べて変わったようですが、抱く想いや感動に変わりはないように思います。2年余りかけて議論を重ねてきた「新しい中野区基本構想」も、ようやく区案として、区議会へ提案することができました。これまでに関わっていただいた多くの方に感謝の気持ちでいっぱいです(^ ^)

◇新しい中野区基本構想が制定された場合には、その内容について次号でお伝えする予定です。

※アドレスの変更、配信中止のご連絡も下記アドレスへどうぞ。

seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

◇お知らせ◇

★★★☆☆平成17年度行政評価区民委員を募集します★★★☆☆

中野区では行政評価をおこなっています。行政評価制度は、前年度の仕事を評価して見直しを進めていくしくみです。

学識経験者と公募による区民の方で構成される「行政評価区民委員会」が、評価資料の検討や各事業者からの聞き取りをおこない、区の仕事の評価します。

たくさんの方々のご応募をお待ちしています。

▼対象：行政評価に意欲のある20歳以上の区民

▼期間：平成17年5月から平成17年9月（全10回程度）

▼報酬：委員会などへの出席1回につき3,000円

▼定員：4名（選考）

▼申込み

氏名（ふりがな）、住所、年齢、電話番号と「応募の動機または区政に対して思うこと」を800字から1,200字で（書式自由）書いて、平成17年4月9日（消印有効）までに郵送または、電子メールで問合せ先までお送りください。

◇問合せ◆

〒164-8501（住所不要）

中野区役所区長室経営改革担当

keieikaikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

Tel:03-3228-8909

◎区ホームページで行政評価の内容がご覧いただけます。

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/16hyouka/16hyoukamain.html>

「10年後の中野を描くメールマガジンナンバー」メインページへは「戻る」キーにてお戻りください。